

PAUL COLLIER

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Authority on developing markets and financial opportunities within the world's poorest countries



Topics

- Economics
- Education
- Finance
- Society

Paul Collierは、最貧国における発展途上国市場と経済的機会に関する世界有数の専門家であり、ヨーロッパの移民危機についての革新的な思想家です。

コリアーはオックスフォード大学の経済と公共政策の教授です。彼は現在、国際通貨基金の戦略政策部、世界銀行のアフリカ地域の顧問、以前は開発研究グループ長を務め、英国政府の経済開発政策の顧問を務めていました。

コリアーは、定期刊行物、ニューヨークタイムズ、フィナンシャルタイムズ、ウォールストリートジャーナル、ワシントンポストなどの出版物のコラムと解説を定期的には書いています。彼の最も売れ行きの良い本であるThe Bottom Billionは、その範囲と影響においてJeffrey SachsのThe End of Povertyと比較されてきました。彼はまた戦争、銃および投票の著者でもある：危険な場所の民主主義および略奪された惑星：なぜ私達は絶対に必要であるか - そして私達はどのようにして - 世界繁栄のために自然を管理する。彼の最新の本、出エジプト記：移住がいかに私たちの世界を変えているか、大胆に世紀の最大の課題の一つに直面しています。

「ポール・コリアーは、進歩することに対する現代の世界の障害を鋭意理解している素晴らしい精神です。略奪された惑星では、コリアーは私たちの時代の最も難しい質問のいくつかに取り組み、そして私たちの世界の天然資源を効果的に管理するための洞察に満ちたフレームワークを提供します。コリアーの本は、すべての人類にとってより平等で、より持続可能で、より繁栄した世界を築くための重要な瞑想です。」 - 大統領ビル・クリントン